

令和8年 第1回定例会 代表質問

度の一部拡充などである。

質問 将来起こりうる財政的課題や、視野に入れておくべき点を伺う。

答弁 財政状況の短期・中期的見通しは、大幅な変動はないと見込むが、一方で物価上昇や賃金上昇に伴う費用の増加や、広域市町村圏組合負担金や施設の大規模改修等で経費の増加が見込まれる。税収基盤の強化、行政の効率化・最適化など、現在の取組の見直しと改善、適正な基金の管理や有利な市債の活用に努める。

質問 市場金利は上昇局面にある。一般に金利が上昇すれば、借入の利払が増えるものと解されるが、財政にどれほど影響があるか伺う。

答弁 財政運営で影響するものは、地方債の借入れである。見取りを取り、安い金利のものを選択し、財政融資資金などの公的資金を借入れている。

質問 今後交付される交付金も金利上昇に伴って増えるものか

伺う。

答弁 過疎債等、交付税算入になるものは、元利分が交付税算入される。ある程度金利が上がっても、その分は国から充当されるという考え方になる。

○地熱開発や企業誘致の現状について

質問 本市が全国初の地熱フロンティアの選定を受けたが、その動向を見守るほかに、本市が取組む内容について伺う。

答弁 国主体の地熱調査事業であり、その後はこれまで同様、民間事業者が参入して進められる。また、令和8年度から2か年市職員を派遣し、資源エネルギー庁との強力なパイプを構築し、地熱資源を保有する全国の自治体と情報を共有するネットワークづくりにも期待する。

質問 企業誘致の現況について伺う。

答弁 本市の立地条件や企業の進出条件、既存産業との親和性などを踏まえ、地域に波及効果が見込まれる産業分野を幅広く

対象とし進めている。令和6年12月に株式会社Surpass、令和7年5月に光エンジニアリング株式会社、今年2月に大崎データテック株式会社を誘致認定した。

○域内の公共交通について

質問 当会派では、Aーオンデマンド交通を先行導入した三鷹市を調査した。Aーによるオンデマンド交通は、あらゆる需要に応え、市民の福祉向上に資するに違いないと考える。昨年行われたAーオンデマンド交通に係る情報提供依頼(RFー)について伺う。

答弁 今年度はAーオンデマンドサービス事業者から情報収集を行い、全国7社より、導入実績、技術面、運用面、コスト面に関する知見を提供いただいた。これらの情報を基に今後検討を進める。

質問 新たな(Aー)オンデマンド交通運行までのスケジュールを伺う。

答弁 令和8年度に新たな運行

計画の検討と策定を進め、令和9年度にはオンデマンド交通の環境整備及び実証運行を実施する。令和10年度に、新たなオンデマンド交通本格運行の開始をしたいと考えている。

○公共施設について

質問 道の駅おがちのリニューアルに際して提示されたコンセプト案について伺う。

答弁 本市を代表する「食」に重点を置く。また、犬に関連したコンテンツを強化し、新たな利用者層を取り込み、何度も行きたくなる道の駅を実現したい。

質問 過去に会派で福岡県の道の駅むなかたを視察した。じやらん全国道の駅グランプリ2025で第2位に選ばれ、県内外の道の駅との物産交流も行われている。集客力を高めより多くの来訪を望むならば、この点についての見解を伺いたい。

答弁 運営管理者の範疇になるが、各地の物産が手に入ること、は地元の方にも恩恵があると考え